

令和4年度のごみ焼却炉定期点検を実施します。

鯖江クリーンセンターには、60トン/日の処理能力を持つ焼却炉がA系炉とB系炉の2炉設置されています。その焼却炉は、昭和61年に稼働開始し、36年が経過し、全国でも古い焼却炉となりました。環境省の資料によると、全国の焼却炉の約90%が稼働年数30年以内で更新されています。

現在、新炉建設計画が進んでいますが、それまでは既存の焼却炉を、日々の機器点検や定期的な設備点検、緊急的な修繕や整備工事を行いながら、ごみの受け入れをしていくこととなります。しかしながら、焼却炉が老朽化していることから、何らかの原因で停止すれば、ごみの受け入れができなくなります。そのような事態を避けるためにも、5月28日から6月10日と6月25日から7月10日まで、毎年行う定期点検を実施します。定期点検は2炉のうち1炉を稼働停止して実施するため、1炉でのごみ焼却となります。その間、住民の皆様にはごみの減量化と適切な分別に引き続き御協力をお願いいたします。

私たちが安心して生活するためには、令和7年度まで現在の焼却炉を点検および整備工事を実施しながら使い続け、令和8年度から新炉に移行させることが必要です。

今後とも御理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

施設名	処理能力	定期点検停止期間（予定）
B系焼却炉	60トン/日	5月28日～6月10日
A系焼却炉	60トン/日	6月25日～7月10日

次の写真は、令和3年度に実施した主要設備の点検整備状況です。

【設備名と役割】

- 焼却炉 ⇒ ごみを燃やしている設備です。
- かき取り機 ⇒ ごみを焼却炉にかき落とす設備です。
- 空気加熱器 ⇒ ごみを燃やしたあとの排出ガスを外から取り入れた空気で冷却し、熱交換する設備です。熱交換により、空気は加熱され大気に放出されます。
- ガス冷却室 ⇒ ごみを燃やしたあとの排出ガスに霧状の水をかけて冷却する設備です。
- 給じん装置 ⇒ ごみを焼却炉内に送り込む設備です。
- 誘引送風機 ⇒ ごみを燃やしたあとの排出ガスを吸引し、煙突から大気に放出させる設備です。

A系焼却炉の点検整備状況

【焼却炉パッチング補修後】



【焼却炉分散ノズル整備中】



【かき取り機点検中】



【空気加熱器清掃中】



【空気加熱器点検中】



B系焼却炉の点検整備状況

【ガス冷却室パッチング補修後】



【ガス冷却室スプレーノズル整備後】



【給じん装置清掃中】



【給じん装置点検中】



【誘引送風機点検中】

